

一般質問

※本稿は、質問者が作成しています。

ID 1005109

9月定例会では13人の議員が一般質問を行いました。

- ・紙面の都合上、質問等の一部を掲載します。
- ・QRコードは各議員の録画映像へのリンクです。
- ・会議録は11月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

森 ひとみ 議員
(一志会)

木曾川堤のサクラについて

Q 国の名勝及び天然記念物である木曾川堤桜は平成13年の市制80周年時点の960本から平成30年6月末日現在714本に減少している。早急に桜の枯損原因調査並びに適正な管理を。

A 枯損している桜については保護の観点から土壌についてのサンプル調査実施を様々な専門家の意見を参考に検討し、必要に応じ樹木医などの専門家の意見を聞くことも検討します。

第5期障害福祉計画について

Q 全国的に広がりを見せる情報コミュニケーション条例や手話言語条例について「だれもが人格と個性を尊重し支え合う共生のまち一宮」を基本理念としている一宮市の考えはどうか。

A 条例化する意義や必要性、条例化した場合の効果・影響などについて他の自治体の動向も注視しながら調査研究してまいります。

自転車の交通事故について

Q 一宮警察署が今年2月に発足した「ビーフォース一宮」の活動内容とその成果を知りたい。

A 警察官自身が自転車で巡回し、自転車利用者への指導・取締まり活動を行っており、7月末までに3440件の指導警告を実施しています。



高橋 一 議員
(新緑風会)

気持ちよく税を納めてもらうために

Q 税は「取られる」という認識であり、気持ちよく納めてもらうのは行政の永遠の課題だと思うが。

A 行政活動の充実を実感していただけるよう、施策でしっかり還元していきたいと考えています。

障がい者スポーツ振興について

Q 障がい者のスポーツ振興についてどう考えるか。

A 特に競技性の高い大会を本市で開催し間近で見えていただくことが、障がい者スポーツ参加促進の第一歩であると考えます。

リビングウィルと救命行為

Q 救命措置拒否を表明している患者の家族から119番通報があった場合、救急隊員はどのように対応するか。

A 救命措置拒否の傷病者であっても、心肺蘇生を継続しながら医療機関に搬送することを原則としております。

災害リサイクル

Q 水害などによる災害廃棄物にどう対応するか。

A 昨年に作成した一宮市災害廃棄物処理計画に沿って処理します。大規模災害の場合は、相互応援協定に基づき対応いたします。



渡部 晃久 議員
(新政会)

インフラツーリズムについて

Q 公共施設や建設現場を公開する「インフラツーリズム」、内容を改めて確認したい。

A 「我が国の成長戦略と地方創生の大きな柱」とされ、「魅力ある公共施設・インフラの公開・開放」が施策のひとつに挙げられています。

Q 市が持つ公共施設や建設現場を一般の方が見学できないか。

A 子どもたちの将来の夢を育むきっかけにもなりますので、安全に配慮しながら実施に向け努めてまいります。

コミュニティサイクルについて

Q 一宮駅周辺にある駐輪場の状況を確認したい。

A 4月の昼間調査では、約1万台の駐輪場に約7千台の駐輪がありました。

Q セルフで貸出・返却ができ片道利用も可能な「コミュニティサイクル」、一宮市でも普及に取り組んではどうか。

A 需要やメリット、問題点を考慮しながら、他市の事例等研究していきたいと考えます。



その他の質問項目

・臨時多客期の公共交通について



服部 修寛 議員

(新緑風会)

猛暑対策について

Q 避難場所に指定されている屋内運動場・武道場へのエアコンの設置は必要と思うがいかがか。

A 非常時での必要性は認識していますが、今後国の補助制度の動向も注視してまいります。

保育園のエアコン設置状況は。

A 年中・年長児の部屋が未整備であり、順次整備をしてまいります。

イタセンパラの保護について

Q さかなクんに、イタセンパラ大使をお願いしてはいかがか。

A 検討してまいります。



健康増進法改正案に基づくと完全分煙のすすめ

Q 市役所喫煙環境はどうなるか。

A 建物内は完全禁煙とし、時期と屋外での喫煙場所の設置については、国の判断を勘案して対応していきます。

障がい者雇用の促進と障がい者差別の撤廃について

Q 一宮市職員採用での障がい者認定はどの様な基準か。

A 障がい者の雇用時に、身体障害者手帳の写しを提出してもらうこととなる。



中村 一仁 議員

(新緑風会)

中核市移行について

Q 中核市移行の予定時期と今後のスケジュールを教えてください。

A 中核市への移行の予定時期は、2021年4月を考えています。このため、2020年3月に、国への中核市指定申出に係る議案を市議会に上程したいと考えています。

中核市移行の際、市の事業について、スクラップ&ビルドを行うべきと考えるが、方針を聞かせてほしい。

A 県から移譲される事務・事業をスムーズに遂行できる組織体制や、どのように市の独自性を出していくかを検討します。そして、組織の見直しと合理化を行い、必要以上に職員数を増やさない方針を考えています。

小中学生通学時の安全と健康について

Q 小中学生

の荷物の重量化が問題となっておりが、今後、どのような対応を考えているか。



A 教科書等を学校に置くことを各学校判断で認めています。子どももの体調等を考慮して個々に柔軟に対応していきます。今後とも保護者から健康被害を心配する相談があった場合は、できる限り対応するよう学校へ指導します。



柴田 雄二 議員

(公明党)

高齢化・シングル化に合わせた住宅政策について

Q 今後高齢者夫婦のみの世帯や単身世帯が増えてくると思われるが、市営住宅ではどのように対応されるか。

A 平成30年度第2回定期募集から、全ての3Kの住戸について単身者が入居できるように緩和しています。

中高層住宅で4・5階に空きがあり、エレベーターの設置が必要と思われるが、どのように考えるか。

A エレベーターの必要性は認識していますが、構造的な問題や法的な問題、設置スペースの問題とともに設置後の共益費の値上げで住民負担が増加することのご理解を得る必要があります。引き続き検討してまいります。

募集停止住宅の利活用は、どのようにするのか。

A 今年度策定する一宮市公営住宅等長寿命化計画を踏まえ、総合的に検討してまいります。

官民協働事業推進について

Q 官民協働事業の目的に、新たな事業機会の創出や民間投資の喚起による経済成長の実現がある。今後、どのように取り組まれるか。

A 実績はないですが、事業の企画・検討段階で民間事業者から幅広くアイデアや意見を聞いていきます。



竹山 聡 議員

(新政会)

東海北陸自動車道(仮称)西尾張インターの整備状況と萩原多気線を含めた周辺への交通対策・活性化策について

Q 仮称西尾張インターの進捗状況と完成時期、どのような効果があるのかを教えてください。

A 現在ランプ橋の橋脚3基・橋台1基が完成しており、事業完了予定は平成32年と公表されています。インターを利用する車は1日3600台と想定しており、インターが完成すれば西尾張中央道の渋滞が緩和されると考えます。

Q インターが完成して名鉄尾西線高架事業などが進められれば、周辺の交通に大きく影響する。一宮春日井線と神山高井線の交差点付近が現在でも渋滞している。何か対策はないのか。

A 交通状況や周辺の交差点を含めた信号の状況を把握し適宜対策します。

Q 萩原多気線の丹陽町と大和町の未整備区間を早期に整備することが重要と考えるが、市の考えを教えてください。

A 丹陽町三ツ井区間において、一宮市が先行して基本設計を行いました。今後は、すみやかに用地測量を行い、県にバトンタッチしていきたいと考えています。大和町の未整備区間についても県へ働きかけます。



高木 宏昌 議員 (一志会)

道路環境整備

Q 奥町地内の市道D219号線に於ける一部電柱移設作業が始まり、随分見違える道路となり、市当局並びに電力会社に感謝している。今後も継続事業としてお願いしたい。道路環境が整備出来た時、iバスの運行は可能か。

A バス事業者の乗務員不足が今後さらに見込まれるとの予測から、新設や延長は難しい状況です。

働き方改革(教育現場)

Q 教師の勤務時間量緩和について、どんな手段・方法があるのか、色々な案があるようだ。各種の支援講師・臨時職員が相当数要するという事。いわゆる財源の問題と捉えるが、市はどう考えるか。

A 教育費を後回しにしてはおりませんが、他市に比べ福祉関係の給付などが多く、相対的に割合が低くなっております。しかし、学校のエアコン整備など、教育にも力を注いできました。費用対効果の検証などにより、今後も効果的な財源配分に努めてまいります。



河村 弘保 議員 (公明党)

ふるさと納税 寄付者の悩みに応える返礼品

Q ふるさと納税の返礼として、高齢者の見守り支援や空き家の管理などのサービスを提供していくことへの市の見解を問う。

A 現在の一宮市の返礼品には、サービスを提供する場合の内容のものはございませんが、ご紹介いただきました郵便局の見守りサービスにつきましては、このほど郵便局の担当者から説明を伺う機会があり、ただいま検討段階に入っております。

まちづくりを見据えたスポーツイベント

Q スポーツを活かしたまちづくりを進めるにあたり、全ての世代が参加することのできる「ロゲイニング」の開催を検討してはいかがか。

A ロゲイニングは、幅広い年齢層の参加が可能で、数多くのコンセプトやエリアも自由に設定でき、新たな事業としての可能性を感じるものです。関係諸団体へ打診していきたいと思っております。

その他の質問項目

- 生活困窮者自立に向けた就労につながる支援体制
- 水道事業の基盤強化



彦坂 和子 議員 (日本共産党一宮市議団)

中学生の職場体験に自衛隊を対象とすることについて

Q 教育委員会は、職場体験の受け入れの現状を把握しているか。

A 平成30年度は春日井、守山、各務原の自衛隊基地へ職場体験に行く学校は10校、58名の生徒が参加します。

Q 災害救助活動で活躍する自衛隊が報道されるが、戦闘行為が第一の任務の自衛隊での職場体験は問題があると思う。職場体験に自衛隊を対象としないとの申し入れへの市の考えは。

A 自衛隊は25万人の最大の国家公務員です。学習の内容(災害救助)は、各学校が安全に配慮して検討しており、問題視する必要はないと考えています。

子どもを大切に、子育て世代応援の学校給食を

Q 平成30年文部科学省が学校給食費無償化の全国調査を初めて実施した。全国で学校給食費の無償化・一部補助を行う自治体が増えている。市で実施する考えは。

A 実施している自治体は、例えば過疎対策等の行政課題を解決する手段として政策を行っております。総合的・慎重に判断していきたいと考えてます。

その他の質問項目

- 今伊勢地域の踏切の安全対策を進めるために



平松 邦江 議員 (公明党)

地域防災の対策について

Q 各町内で個別防災計画を作っているか。どんな内容が書かれているか。

A 自主防災会設立時に「自主防災会のしおり」に記載の防災計画の作成例を参考に作成していただきます。計画には、組織作り、活動内容、活性化情報が書かれています。

Q ハザードマップは長く更新されていない。破棄した人も多いので、公施設などで掲示してもらいたい。

A 愛知県が現在作成中のものを公表したときに一宮市版を作成して更新します。公施設での掲示やイベントでの配布で、周知に努めます。

Q 大規模災害に備える防災行動計画をタイムラインという。風水害を想定したタイムラインは作成しているか。また、改正された避難情報の周知徹底を求む。

A 木曽川の洪水を対象としたものを作成しています。避難情報はマスコミ報道やウェブページ、メール等で周知を図ります。

Q 災害弱者の名簿の活用において地域間に格差があり、名簿の理解が希薄なところがある。市民や地域役員の方が認識できるように寄って、コーディネーター役を発揮してもらいたい。

A 各地域の活動内容把握に努め、地域防災力の強化に努めます。



末松 光生 議員
(改革クラブ)

縮小社会下の市の財政状況

Q 国からの交付税が減少していると思うが、ここ5年間の推移はどうなっているか。また、市の公債費(借金の返済額)は増加傾向にあるが、今後5年間の予測はどうなるか。

A 普通交付税は、平成25年度から29年度で、107億4千万、103億6千万、106億、96億1千万、96億円です。公債費の見込みは平成30年度から34年度で、90億9千万、92億3千万、95億5千万、97億2千万、98億2千万円となっております。

Q 地域づくり協議会と市民活動支援制度の両方同じような活動の団体があること、また、本来の趣旨から疑問を抱くような団体もある。見直す事業の対象ではないか。

A 課題があることは承知しています。他自治体の取組みを調査したり、団体にアンケートを行うなど、本市にとってより良い制度となるよう改善を検討したいと考えます。

その他の質問項目

・FDC(一宮地場産業ファッションデザインセンター)の役割と課題についてシティブローモーションの主要の1つとして



尾関 宗夫 議員
(日本共産党一宮市議団)

道徳の教科化への狙いと子どもたちや教職員の影響について

Q 今年度は小学校で、来年度は中学校で道徳の教科化がスタートする。その狙いは何か。

A 道徳の目標は、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることです。

Q 低学年の子どもは、議論することも難しいと思う。議論する工夫は。

A 教材にあわせ役割演技をもちいるなど、表現活動を取り入れ、日頃の考えを出せるよう工夫しています。

Q 子どもたち一人ひとりの評価、人間の心の中、ありようを評価することとは、教育の基本から外れていると考えるが、どのように評価するのか。

A 評価は数値でなく、文章による評価です。他の子どもとの比較でなく、子ども自身が成長した部分を認め励ます評価です。年度末に評価します。

その他の質問項目

・国民健康保険の都道府県単位化による被保険者への負担増等を検証する
・介護保険、地域包括ケアシステムの構築
で不安視される社会
保障制度について



次回12月定例会の日程(予定)

日程は変更になることがあります。

ID 1005106

本会議	
11月26日(月)	開会・議案上程
11月30日(金)	一般質問
12月 3日(月)	一般質問
12月 4日(火)	一般質問
12月17日(月)	討論・採決・閉会
■開議時刻……午前9時30分	
■傍聴場所……本庁舎14階 議場傍聴席	

常任委員会	
12月 6日(木)	総務委員会
12月 7日(金)	福祉健康委員会
12月10日(月)	経済教育委員会
12月11日(火)	建設水道委員会
■開議時刻……午前9時30分	
■傍聴受付場所……本庁舎12階 議会事務局	
■傍聴受付開始時刻……午前9時(定員10名)	

国に意見書を提出しました

地方自治法第99条の規定に基づき、9月定例会では2件の意見書を議決し、平成30年9月26日に国と衆・参議院議長に提出しました。



- ・地域高規格道路「一宮西港道路」の早期実現を求める意見書
- ・定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書



意見書はウェブサイトで公開しています。

ID 1023940